

# 2018年度第3四半期決算 電話会議 資料

2019年2月14日（木）

立ちどまらない保険。

**MS&AD**

INSURANCE GROUP

# 全体目次

## 2018年度第3四半期決算の概要

グループ連結	P5-12
国内損害保険会社	P13-15
国内生命保険会社	P16-17
海外保険子会社	P18
（参考）国内損保会社主要 2 社の業績概要	P19-21
（参考）MS Amlin 業績概要	P23-24
（参考）ESRの状況	P25

## <参考掲載> 2018年度業績予想（2018年11月19日発表内容）

グループ連結	P27-30
今回業績予想の主な前提	P31
国内損害保険会社	P32-33
国内生命保険会社	P34-35
海外保険子会社	P36
（参考）国内損保会社主要 2 社の概要	P37-38

※決算データにつきましては、当社ホームページに掲載しています「データ編(Excelファイル)」もご参照ください。

## 2018年度第3四半期決算の概要

---

(空白)

# グループ連結（2018年度第3四半期）①業績の概要 1（トップライン）

## 損保子会社

(億円)

	2017年度 第3四半期	2018年度 第3四半期	2018年度	
			前年同期比	増収率
元受正味保険料(除く収入積立保険料)※	27,131	<b>28,020</b>	888	3.3%
正味収入保険料※	26,282	<b>26,751</b>	469	1.8%
三井住友海上	11,280	<b>11,316</b>	36	0.3%
あいおいニッセイ同和損保	9,254	<b>9,239</b>	△ 15	△ 0.2%
三井ダイレクト損保	275	<b>267</b>	△ 8	△ 3.0%
海外保険子会社	5,437	<b>5,905</b>	467	8.6%

※ 自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

## 生保子会社

(億円)

	2017年度 第3四半期	2018年度 第3四半期	2018年度	
			前年同期比	増収率
保険料(グロス収入保険料)※	11,171	<b>12,114</b>	943	8.4%
三井住友海上あいおい生命	3,602	<b>3,683</b>	80	2.2%
三井住友海上プライマリー生命	7,568	<b>8,431</b>	862	11.4%
生命保険料	7,583	<b>9,809</b>	2,225	29.4%

※ 保険料(グロス収入保険料)は国内生保子会社のみ

## グループ連結(2018年度第3四半期)①業績の概要 1(トップライン)

(損保子会社[国内・海外])

- ・正味収入保険料は469億円、1.8%の増収。
- ・国内損保2社の正味収入保険料増収率は0.1%、除く家計地震・自賠責ベースでは1.2%の増収。なお、再保険に係る復元追徴保険料の影響は△193億円。
- ・海外保険子会社は、MS First Capitalの新規連結(158億円)や為替影響(119億円)などもあり467億円の増収。

(国内生保子会社)

- ・MSA生命:16ページを参照
- ・MSP生命:17ページを参照

# グループ連結（2018年度第3四半期）①業績の概要 2（ボトムライン）

（億円）

	2017年度 第3四半期	2018年度 第3四半期	2018年度	
			前年同期比	増減率
経常利益	1,617	<b>2,376</b>	758	46.9%
三井住友海上	1,950	<b>1,766</b>	△ 183	△ 9.4%
あいおいニッセイ同和損保	288	<b>513</b>	224	77.8%
三井ダイレクト損保	12	<b>12</b>	△ 0	△ 0.6%
三井住友海上あいおい生命	132	<b>139</b>	6	5.3%
三井住友海上プライマリー生命	423	<b>257</b>	△ 166	△ 39.2%
海外保険子会社	△ 828	<b>144</b>	973	-
その他・連結調整等	△ 361	<b>△ 457</b>	△ 96	-
四半期純利益※	976	<b>1,750</b>	774	79.3%
三井住友海上	1,501	<b>1,350</b>	△ 151	△ 10.1%
あいおいニッセイ同和損保	190	<b>379</b>	188	98.5%
三井ダイレクト損保	10	<b>10</b>	0	2.8%
三井住友海上あいおい生命	61	<b>65</b>	4	6.6%
三井住友海上プライマリー生命	253	<b>187</b>	△ 66	△ 26.1%
海外保険子会社	△ 729	<b>186</b>	916	-
その他・連結調整等	△ 311	<b>△ 427</b>	△ 116	-

※ 連結の四半期純利益は親会社株主に帰属する四半期純利益を記載。子会社の四半期純利益は出資持分ベース。以下同じ。

## グループ連結(2018年度第3四半期)①業績の概要 2(ボトムライン)

### <四半期純利益>

#### (グループ連結)

- ・海外子会社の回復を主因に774億円の増益。当期純利益の業績予想2,000億円に対する進捗率は、87.5%。

#### (国内損保子会社)

- ・MSは、国内自然災害の保険金支払の進捗に伴い異常危険準備金取崩が増加し、減益幅が第2四半期末の△381億円から△151億円に減少。
- ・ADは、異常危険準備金取崩の大幅な増加に加え、前年に海外自然災害の影響が大きかったこともあり、188億円の増益。

#### (国内生保子会社)

- ・MSA生命、MSP生命ともに計画対比ではプラスで進捗。前年同期比ではMSP生命の減益を主因に△62億円の減益。

#### (海外子会社)

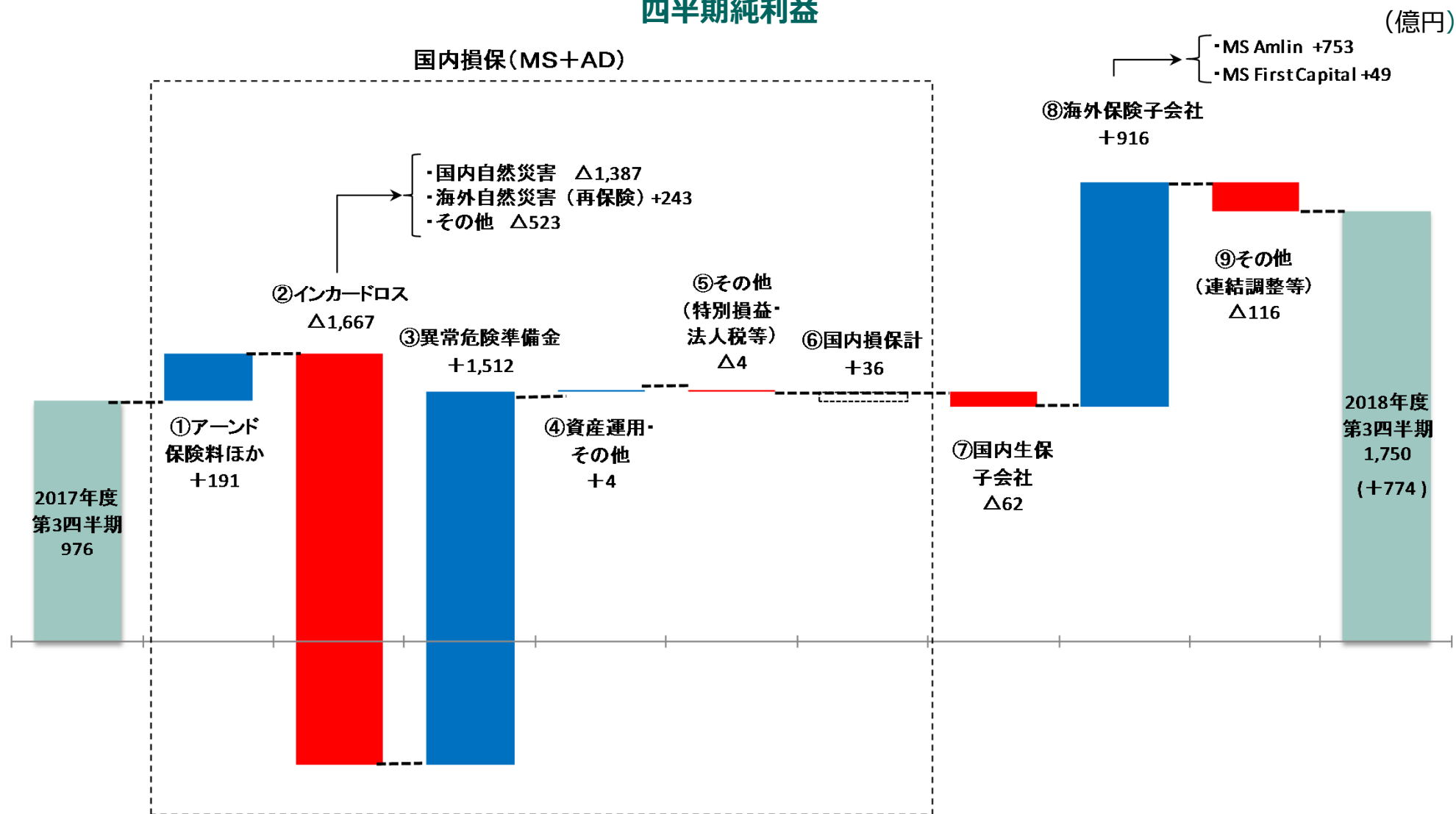
- ・海外子会社は916億円の増益。自然災害ロスの減少等によるMS Amlinの回復やアジアの増益が主因。



# グループ連結（2018年度第3四半期）②前年同期との比較 1

- ・ 四半期純利益は、前年同期比+774億円の増益
- ・ 国内損保2社は、国内自然災害が1,387億円増加したことを主因に②のインカードロスが1,667億円増加したものの、③の国内自然災害の保険金支払進捗に伴う異常危険準備金の取崩の増加で相殺し、+36億円の増益。
- ・ ⑧の海外保険子会社は、自然災害ロスの減少等により+916億円の回復。

## 四半期純利益



# グループ連結（2018年度第3四半期）②前年同期との比較 2

## 四半期純利益の内訳

(億円)

	2017年度 第3四半期	2018年度 第3四半期	差額
四半期純利益	976	1,750	774
国内損保 <sup>※1</sup> 保険引受利益(除く家計地震・自賠責)	513	549	35
アーンド保険料ほか <sup>※2</sup> ①	11,854	12,045	191
インカードロス(含む損害調査費) ②	△ 10,731	△ 12,399	△ 1,667
異常危険準備金損益 ③	△ 609	902	1,512
資産運用・その他 ④	1,725	1,730	4
その他(特別損益・法人税等) ⑤	△ 545	△ 549	△ 4
国内損保計 ⑥	1,692	1,729	36
国内生保子会社 ⑦	314	252	△ 62
海外保険子会社 ⑧	△ 729	186	916
その他(連結調整等) ⑨	△ 301	△ 417	△ 116

※1 国内損保は、三井住友海上とあいおいニッセイ同和損保の金額の合計

※2 「アーンド保険料ほか」には、事業費などが含まれる

# グループ連結（2018年度第3四半期）③グループ修正利益

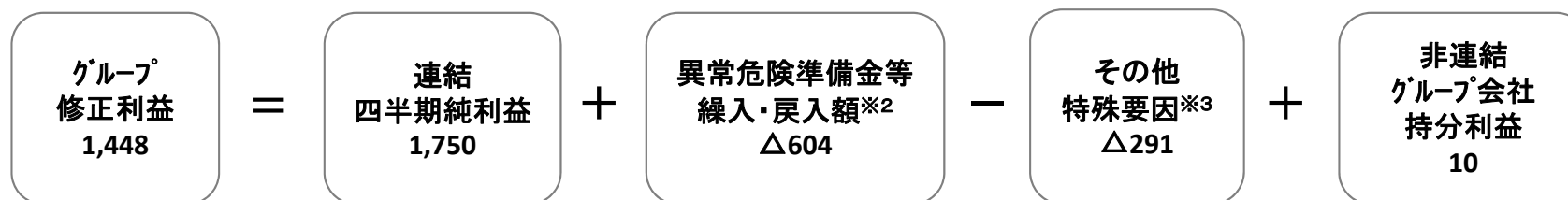
- ・グループ修正利益は、自然災害の影響による国内損保事業の減益を主因に△193億円減益の1,448億円。
- ・なお、グループ修正利益は異常危険準備金の繰入・戻入により発生する損益を控除する。

(億円)

	2017年度 第3四半期	2018年度 第3四半期	前年同期比
グループ修正利益 ※1	1,642	1,448	△ 193
国内損保事業	2,361	1,003	△ 1,358
国内生保事業	298	256	△ 42
海外事業	△ 1,052	162	1,214
金融サービス事業/リスク関連事業	33	25	△ 8

※1 「グループ修正利益」の定義は最終ページご参照。

(参考)



※2 繰入の場合は加算、戻入の場合は減算

※3 のれん償却等△257、特別損益(除く価格変動準備金)等△33

# グループ連結（2018年度第3四半期）④当年度発生自然災害ロス（国内・海外）

- ・国内自然災害のインカードロスは、台風24号の第3四半期計上分を主因に第2四半期末より277億円増加の2,047億円。
- ・海外自然災害は、ADについては12月末まで、MS Amlinについては9月末までの発生分を織り込み360億円。
- ・なお、業績予想の前提は国内自然災害が2,160億円、海外自然災害が286億円。

## 国内自然災害の影響

	インカードロス			支払保険金
	2017年度 第3四半期	2018年度 第3四半期	前年同期比	2018年度
				第3四半期
三井住友海上	382	<b>1,058</b>	676	<b>746</b>
あいおいニッセイ同和損保	277	<b>989</b>	711	<b>849</b>
合 計	660	<b>2,047</b>	1,387	<b>1,596</b>

## 海外自然災害の影響※

	インカードロス			(億円)
	2017年度 第3四半期	2018年度 第3四半期	前年同期比	
あいおいニッセイ同和損保	449	<b>222</b>	△ 226	
MS Amlin	844	<b>137</b>	△ 706	
合 計	1,293	<b>360</b>	△ 933	

※ 上記2社の海外自然災害

<参考：主な国内自然災害の保険金支払見込額> (万件、億円)

	最終支払 見込件数	最終支払 見込額(概算)
7月豪雨(台風7号を含む)	約 2	770
台風21号	約 27	3,930
台風24号	約 12	980
元受支払見込額 上記計	約 41	5,680
再保険回収見込額		△ 3,880
正味インカードロス		1,800

# 国内損害保険会社（2018年度第3四半期）①主要2社の業績概要 1

- ・アード保険料は、新種保険の増収を主因に285億円の増収。
- ・異常危険準備金損益の増加によりインカードロス増加の影響が相殺されたことなどから、保険引受利益は35億円の増益。

	2社合計(単純合計)		三井住友海上(単体)		あいおいニッセイ同和損保	
		前年同期比		前年同期比	(単体)	前年同期比
正味収入保険料 <sup>※1</sup>	20,556	21	11,316	36	9,239	△ 15
アード保険料 <sup>※2</sup>	18,126	285	10,171	197	7,954	88
インカードロス(含む損害調査費) <sup>※2</sup>	(-)	1,667	6,683	858	5,715	809
保険引受に係る事業費 <sup>※2</sup>	(-)	122	3,294	73	2,798	49
諸手数料及び集金費 <sup>※2</sup>	3,678	74	1,938	50	1,740	24
営業費及び一般管理費 <sup>※2</sup>	2,414	47	1,356	23	1,058	24
保険引受利益(異常危険準備金反映前)	△ 353	△ 1,476	168	△ 722	△ 521	△ 754
異常危険準備金損益	902	1,512	271	579	631	932
保険引受利益	549	35	439	△ 142	109	178
EI損害率 <sup>※2</sup>	68.4%	8.2pt	65.7%	7.3pt	71.9%	9.5pt
正味損害率 <sup>※1</sup>	67.1%	8.6pt	65.6%	6.2pt	68.8%	11.5pt
正味事業费率 <sup>※1</sup>	32.3%	0.6pt	31.4%	0.6pt	33.4%	0.5pt
コンバインド・レシオ <sup>※1</sup>	99.4%	9.2pt	97.0%	6.8pt	102.2%	12.0pt

※1 全種目ベース

※2 除く家計地震・自賠償ベース

※自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

※アード(既経過)保険料は、未経過保険料(除く自然災害責任準備金)・保険料積立金等を調整して算出

# 国内損害保険会社（2018年度第3四半期）①主要2社の業績概要 2

- ・資産運用・その他収支は、ほぼ前期並みとなった。
- ・四半期純利益は、保険引受利益の増益を主因に36億円の増益。
- ・政策株式は順調に売却を進めた（業績予想の売却額1,180億円）。

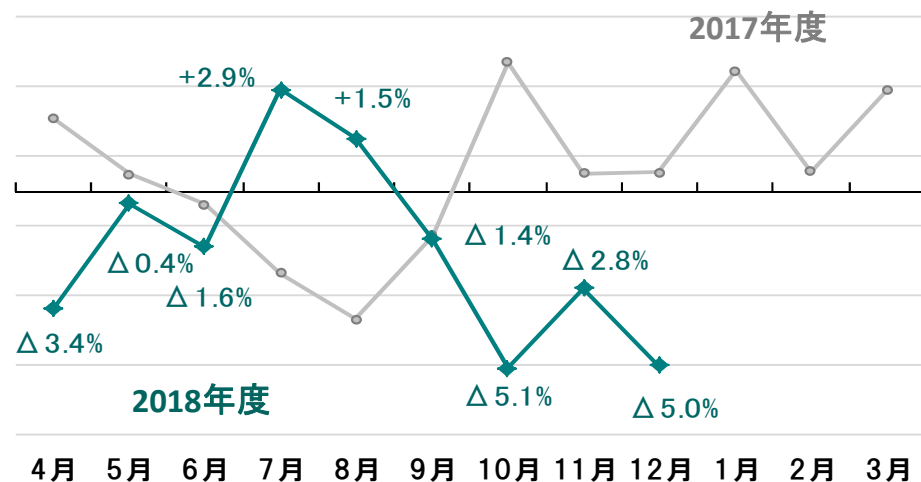
(億円)

	2社合計(単純合計)		三井住友海上(単体)		あいおいニッセイ同和損保	
		前年同期比		前年同期比	(単体)	前年同期比
保険引受利益	549	35	439	△ 142	109	178
ネット利息及び配当金収入	1,022	56	691	55	330	1
有価証券売却損益	923	70	775	3	147	66
有価証券評価損 (－)	53	42	42	33	10	9
資産運用・その他収支	1,730	4	1,327	△ 41	403	46
経常利益	2,279	40	1,766	△ 183	513	224
特別損益	△ 56	△ 22	△ 24	△ 46	△ 32	23
税引前四半期純利益	2,223	18	1,742	△ 229	481	248
法人税等	493	△ 18	391	△ 78	101	60
四半期純利益	1,729	36	1,350	△ 151	379	188
	2社合計					
		前年同期比				
(参考)政策株式売却額	955	△ 254				

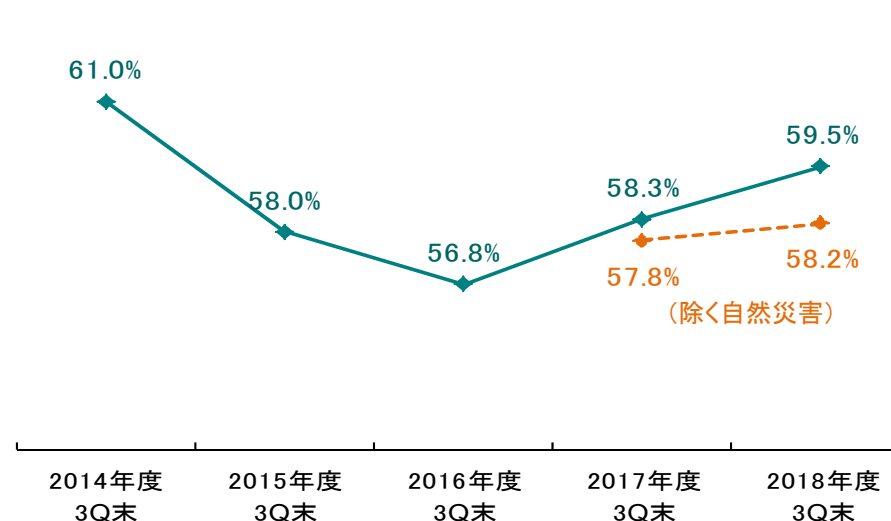
# 国内損害保険会社（2018年度第3四半期）②自動車保険の状況

- ・ 事故件数は、12月末累計で前年同期比△1.6%の減少。
- ・ 自然災害影響を主因にEI損害率は1.2pt上昇の59.5%。自然災害影響を除くベースのEI損害率は0.4pt上昇の58.2%にとどまっている。

事故件数の推移（国内、1日あたり、対前年同月。除く自然災害）  
（MS・AD 2社単純合算ベース）



EI 損害率の推移（含む損害調査費）  
（MS・AD 2社単純合算ベース）



## 保険料・保険金

### 三井住友海上

<国内・営業ベース>	契約台数	保険料単価	保険料
保険料増減要因	+0.6%	△1.8%	△1.2%
<国内>	対物	車両（除く自然災害）	
保険金単価増減	+0.9%	+1.5%	

### あいおいニッセイ同和損保

<国内・営業ベース>	契約台数	保険料単価	保険料
保険料増減要因	+0.1%	△0.9%	△0.8%
<国内>	対物	車両（除く自然災害）	
保険金単価増減	+2.3%	+2.0%	

※ 保険料増減要因の諸数値は営業成績ベース（4-12月）の対前年同期比

※ 保険金単価の増減は、2018年3月末過去1年間の保険金単価に対する、2018年12月末過去1年間の保険金単価の増減を表示

※ EI損害率算出対象期間は、各年度の4-12月

# 国内生命保険会社 三井住友海上あいおい生命（2018年度第3四半期）業績概要

- ・新契約高は収入保障保険の販売が好調だったことを主因に18.6%増加、新契約年換算保険料（第三分野）も新商品の販売が好調だったことなどから27.6%の増加。
- ・四半期純利益は4億円の増益。

## 三井住友海上あいおい生命

(億円)

	2017年度		2018年度		増減率
	第3四半期		第3四半期		
			前年同期比		
新契約高（個人合計）		20,747	<b>24,616</b>	3,869	18.6%
新契約年換算保険料		292	<b>380</b>	87	30.1%
うち 第三分野		103	<b>132</b>	28	27.6%
保有契約高（個人合計）	(期首)	238,068	<b>244,474</b>	(期首比) 6,405	2.7%
保有契約年換算保険料	(期首)	4,123	<b>4,265</b>	(期首比) 142	3.4%
うち 第三分野	(期首)	967	<b>1,049</b>	(期首比) 82	8.5%
保険料(グロス収入保険料)		3,602	<b>3,683</b>	80	2.2%
経常利益		132	<b>139</b>	6	5.3%
特別損益		△ 6	<b>△ 8</b>	△ 1	—
四半期純利益		61	<b>65</b>	4	6.6%
基礎利益		114	<b>126</b>	12	11.0%



# 国内生命保険会社 三井住友海上プライマリー生命（2018年度第3四半期）業績概要

- ・グロス収入保険料は、外貨建年金の販売増加を主因に定額商品が増収となったことから862億円の増収。
- ・四半期純利益は、契約初年度の責任準備金や手数料の負担増加などから△66億円減益の187億円。計画対比ではプラスで進捗。

## 三井住友海上プライマリー生命

(億円)

	2017年度 第3四半期	2018年度 第3四半期	前年同期比	増減率
新契約高（個人合計）	7,581	<b>8,584</b>	1,003	13.2%
保有契約高（個人合計）	（期首） 60,618	<b>64,462</b>	（期首比） 3,843	6.3%
保険料（グロス収入保険料）	7,568	<b>8,431</b>	862	11.4%
経常利益	423	<b>257</b>	△ 166	△ 39.2%
特別損益	△ 72	<b>△ 0</b>	72	—
四半期純利益	253	<b>187</b>	△ 66	△ 26.1%

## 金利・為替影響

(億円)

金利影響	23	<b>12</b>
為替影響	26	<b>△ 37</b>
合計	50	<b>△ 24</b>

## 海外保険子会社（2018年度第3四半期）業績概要

- ・ 正味収入保険料は大幅増収。為替影響を除いたベースでも348億円、6.4%の増収。アジアの増収はMS First Capitalの新規連結が主因。
- ・ 四半期純利益は大幅な増益。MS Amlinの自然災害のロスの減少を主因とした欧州の回復、MS First Capitalの新規連結などが寄与。

### 海外保険子会社

(億円)

	2017年度 第3四半期	2018年度 第3四半期	2018年度	
			前年同期比	増減率
正味収入保険料	5,437	<b>5,905</b>	467	8.6%
アジア	1,217	<b>1,382</b>	164	13.5%
欧州	3,843	<b>4,178</b>	334	8.7%
(うちMS Amlin)	3,520	<b>3,865</b>	345	9.8%
米州	375	<b>344</b>	△ 31	△ 8.3%
四半期純利益	△ 729	<b>186</b>	916	-
アジア	89	<b>229</b>	139	156.1%
欧州	△ 885	<b>△ 121</b>	763	-
(うちMS Amlin)	△ 849	<b>△ 96</b>	753	-
米州	26	<b>23</b>	△ 2	△ 9.3%
海外生保 <sup>※</sup>	39	<b>54</b>	15	38.2%

※ 2018年度より海外生保を区分表示

# (ご参考) 国内損害保険会社 (2018年度第3四半期) 主要2社の業績概要 1

## 正味収入保険料

(億円)

	2社合計(単純合計)		三井住友海上(単体)		あいおいニッセイ同和損保	
		増収率		増収率	(単体)	増収率
火災	2,836	1.4%	1,478	0.3%	1,357	2.6%
海上	531	4.8%	468	4.0%	63	10.8%
傷害	1,601	2.7%	1,115	2.5%	485	3.3%
自動車	10,054	△0.6%	4,920	△0.9%	5,134	△0.3%
自賠責	2,510	△7.1%	1,324	△6.6%	1,186	△7.6%
その他	3,022	5.9%	2,010	6.7%	1,011	4.5%
合計	20,556	0.1%	11,316	0.3%	9,239	△0.2%
除く家計地震・自賠責	18,039	1.2%	9,988	1.3%	8,050	1.0%

※自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

# (ご参考) 国内損害保険会社 (2018年度第3四半期) 主要2社の業績概要 2

## EI損害率 (2社単純合算)

	EI損害率			EI損害率(除く自然災害影響)		
	2017年度	2018年度	前年同期比	2017年度	2018年度	前年同期比
	第3四半期	第3四半期		第3四半期	第3四半期	
火災 (除く家計地震)	78.0%	<b>120.5%</b>	42.5pt	43.8%	<b>53.5%</b>	9.7pt
海上	64.1%	<b>58.0%</b>	△6.1pt	62.3%	<b>55.0%</b>	△7.3pt
傷害	52.0%	<b>51.4%</b>	△0.6pt	52.0%	<b>51.3%</b>	△0.7pt
自動車	58.3%	<b>59.5%</b>	1.2pt	57.8%	<b>58.2%</b>	0.4pt
その他	51.4%	<b>56.7%</b>	5.3pt	49.7%	<b>52.8%</b>	3.1pt
合計 (除く家計地震・自賠責)	60.2%	<b>68.4%</b>	8.2pt	53.8%	<b>55.9%</b>	2.1pt

※ 自動車保険「もどりッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

※ インカードロス = 正味支払保険金 + 損害調査費 + 支払備金積増額

※ EI損害率の分母となるアード(既経過)保険料は、未経過保険料(除く自然災害責任準備金)・保険料積立金等を調整して算出

※ 「自然災害影響」は、当年度発生国内自然災害および海外自然災害のインカードロスの金額

# (ご参考) 国内損害保険会社 (2018年度第3四半期) 主要2社の業績概要 3

## EI損害率 (三井住友海上 (単体)、あいおいニッセイ同和損保 (単体))

	EI損害率				EI損害率(除く自然災害影響)			
	三井住友海上 (単体)		あいおいニッセイ 同和損保(単体)		三井住友海上 (単体)		あいおいニッセイ 同和損保(単体)	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比
火災 (除く家計地震)	<b>108.6%</b>	40.6pt	<b>135.5%</b>	45.3pt	<b>54.6%</b>	7.3pt	<b>52.1%</b>	12.5pt
海上	<b>56.4%</b>	△5.8pt	<b>70.7%</b>	△10.2pt	<b>53.0%</b>	△8.6pt	<b>70.7%</b>	2.0pt
傷害	<b>51.5%</b>	△1.5pt	<b>51.2%</b>	1.5pt	<b>51.4%</b>	△1.6pt	<b>51.1%</b>	1.5pt
自動車	<b>59.1%</b>	0.7pt	<b>59.8%</b>	1.5pt	<b>58.0%</b>	0.2pt	<b>58.5%</b>	0.8pt
その他	<b>56.0%</b>	4.0pt	<b>58.0%</b>	8.0pt	<b>51.8%</b>	1.2pt	<b>54.9%</b>	7.0pt
合計 (除く家計地震・自賠責)	<b>65.7%</b>	7.3pt	<b>71.9%</b>	9.5pt	<b>55.3%</b>	0.9pt	<b>56.6%</b>	3.5pt

※ 自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

※ インカードロス=正味支払保険金+損害調査費+支払備金積増額

※ EI損害率の分母となるアード(既経過)保険料は、未経過保険料(除く自然災害責任準備金)・保険料積立金等を調整して算出

※ 「自然災害影響」は、当年度発生国内自然災害および海外自然災害のインカードロスの金額

(空白)

# (ご参考) MS Amlin 2018年度第3四半期(2018年1-9月期)業績概要※1

(百万ポンド)

	2017年度※2 第3四半期	2018年度 第3四半期	前年同期比
正味収入保険料	2,450	<b>2,611</b>	161
アード保険料	2,111	<b>2,326</b>	215
インカードロス(含む損害調査費)	2,117	<b>1,649</b>	△469
手数料・社費	803	<b>835</b>	32
保険引受利益	△793	<b>△119</b>	674
資産運用損益※3	163	<b>123</b>	△40
その他損益※4	△63	<b>△90</b>	△27
四半期純利益	△590	<b>△65</b>	524
EI 損害率	100.3%	<b>70.9%</b>	△29.4pt
EI 事業費率※5	37.3%	<b>34.2%</b>	△3.1pt
EI コンバインド・レシオ※5	137.6%	<b>105.1%</b>	△32.5pt

※1 現地管理ベース（前年同期数値についても組替）

※2 2017年10月および12月に損害が発生したカリフォルニア山火事にかかるインカードロス（171百万ポンド）を追込み計上

※3 MS Amlinは有価証券の時価変動を損益に反映させる会計処理方法を採用

※4 保険事業会社以外で生じる経費等。なお、2018年度第3四半期には人員削減に伴う退職一時金等が含まれる。

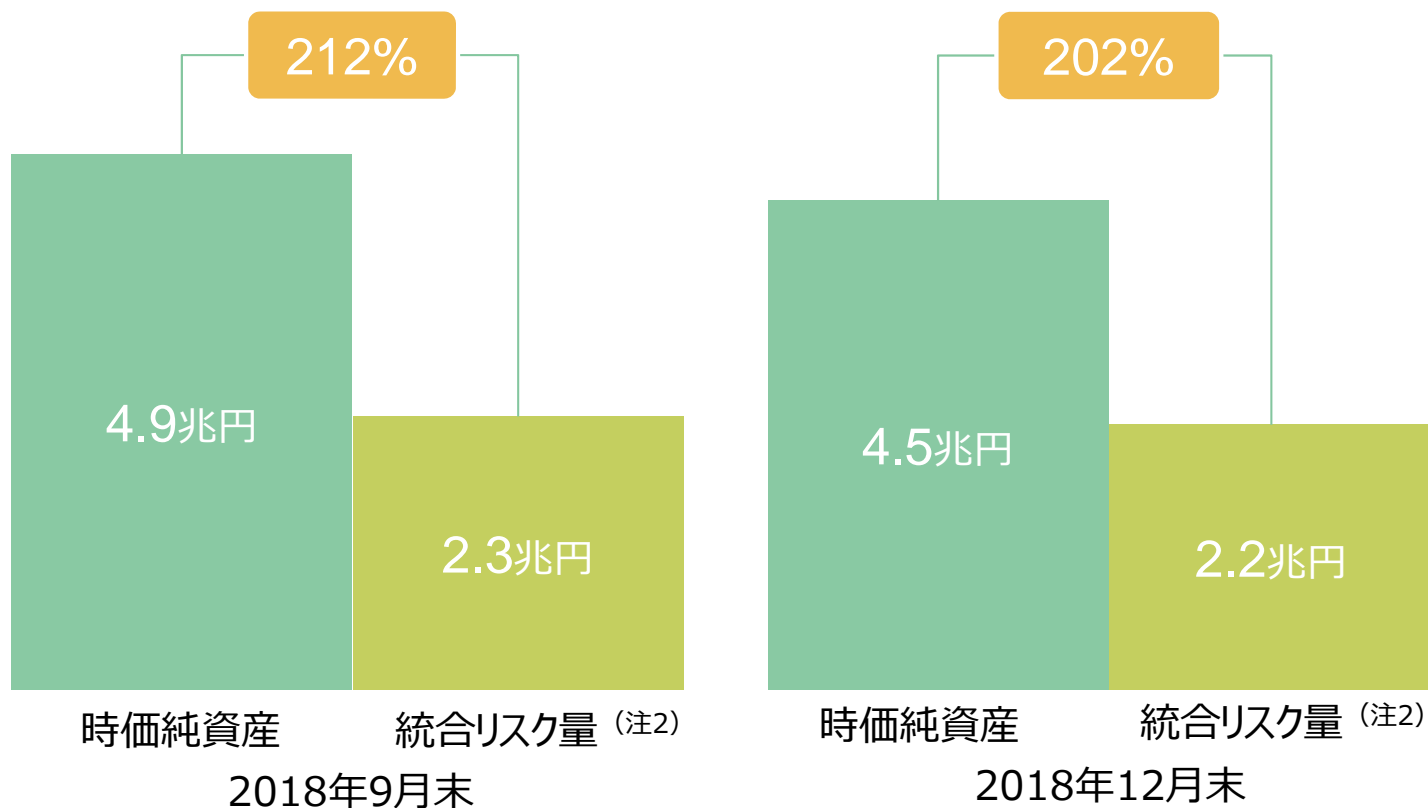
※5 EI 事業費率およびEI コンバインド・レシオは、現地管理に合わせて保険引受利益に含まれる為替差損益を入れて算出

## (ご参考) MS Amlin 2018年度第3四半期(2018年1-9月期)業績概要

- ・第3四半期末の純利益は△65百万ポンドで、前年同期比+524百万ポンド。第3四半期末までの大口自然災害の影響が、前年よりも少なかったことを主因に、前年同期比の純利益は大幅に改善。
- ・第2四半期末との比較では、ハリケーンフローレンス等の影響(約93百万ポンド)で、純利益はマイナスに転じている。
- ・一般リスクについては、大口事故の発生や外部移転を予定しているポートフォリオに関する備金の積増などにより、計画には達していないものの、引受条件の見直しや、適用料率の引上げなどの改善取組みにより、引受ポートフォリオは着実に改善傾向にある。
- ・第4四半期は、ハリケーンマイケルおよびカリフォルニア州山火事で合計180百万ポンドに達する可能性があることや、年末の株式・債券市場の変動の影響による資産運用収益の悪化などが見込まれる。  
一方、通期での純利益は、一般リスクの収支改善効果が見られ、一部のポートフォリオについて備金の取崩を予定していることや、事業費削減の継続的な取組み効果等のプラス要因もあり、3Qからのマイナスの拡大は限定的になる見込み。



ESR<sup>(注1)</sup>



＜ESRの主な増減要因＞  
(2018年9月末対比)

ESRは、主に以下のような要因により、10pt下落。

- ↗ 利益の積み上げによる時価純資産の増加
- ↘ 国内株価下落による時価純資産・リスク量の減少
- ↘ 国内金利低下による時価純資産の減少
- ↘ 異常危険準備金・価格変動準備金の取崩による時価純資産の減少

＜市場環境前提＞

	2018年 9月末	2018年 12月末	対9月末
日経平均株価	24,120円	20,015円	△4,105円
為替 (ドル円)	113円	111円	△3円
国債30年金利	0.91%	0.72%	△0.19pt

(注1) ESR : エコミック・ソルベンシー・レシオ (= 時価純資産 ÷ 統合リスク量)

(注2) 統合リスク量 : 信頼水準99.5%のVaR (Value at Risk) でリスク量を計測。

## 2018年度業績予想

以降は、2018年度業績予想  
(2018.11.19 発表)の資料を参  
考掲載しています。

# グループ連結（2018年度業績予想）①概要1（トップライン）

＜参考＞2018年度業績予想  
（2018.11.19 発表）内容

- ・ 損保子会社の正味収入保険料は、MS Amlinの引受抑制を主因に年初予想比△100億円の引下げ。
- ・ 生保子会社のグロス収入保険料は、上期のMSA生命の販売好調を反映し、77億円の引上げ。

## 損保子会社

(億円)

	2017年度	2018年度 (年初予想)	2018年度(今回予想)			
			前期比	増収率	年初予想比	
正味収入保険料※	34,469	34,800	<b>34,700</b>	230	0.7%	△ 100
三井住友海上	15,003	15,010	<b>15,010</b>	6	0.0%	-
あいおいニッセイ同和損保	12,220	12,250	<b>12,260</b>	39	0.3%	10
三井ダイレクト損保	378	380	<b>375</b>	△ 3	△ 1.0%	△ 5
海外保険子会社	6,823	7,160	<b>7,000</b>	176	2.6%	△ 160

※ 自動車保険「もどりッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

## 生保子会社

(億円)

	2017年度	2018年度 (年初予想)	2018年度(今回予想)			
			前期比	増収率	年初予想比	
保険料(グロス収入保険料)※	15,081	14,968	<b>15,045</b>	△ 36	△ 0.2%	77
三井住友海上あいおい生命	4,925	4,968	<b>5,045</b>	119	2.4%	77
三井住友海上プライマリー生命	10,156	10,000	<b>10,000</b>	△ 156	△ 1.5%	-
生命保険料	10,582	11,700	<b>11,800</b>	1,217	11.5%	100

※ 保険料(グロス収入保険料)は国内生保子会社のみ

# グループ連結（2018年度業績予想）①概要2（ボトムライン）

＜参考＞2018年度業績予想  
(2018.11.19 発表) 内容

- ・経常利益は2,900億円（年初予想比△50億円）。
- ・当期純利益は年初予想どおりの2,000億円。

(億円)

	2017年度	2018年度 (年初予想)	2018年度(今回予想)		
			前期比	年初予想比	
経常利益	2,115	2,950	<b>2,900</b>	784	△ 50
三井住友海上	2,625	1,880	<b>1,930</b>	△ 695	50
あいおいニッセイ同和損保	56	670	<b>650</b>	593	△ 20
当期純利益※	1,540	2,000	<b>2,000</b>	459	-
三井住友海上	1,982	1,410	<b>1,440</b>	△ 542	30
あいおいニッセイ同和損保	156	360	<b>350</b>	193	△ 10
三井ダイレクト損保	2	2	<b>1</b>	△ 2	△ 1
三井住友海上あいおい生命	52	50	<b>40</b>	△ 12	△ 10
三井住友海上プライマリー生命	292	170	<b>200</b>	△ 92	30
海外保険子会社	△ 1,046	400	<b>380</b>	1,426	△ 20
その他・連結調整等	100	△ 392	<b>△ 411</b>	△ 511	△ 19
ROE(財務会計ベース)	5.5%	6.8%	<b>6.6%</b>	1.1pt	△ 0.2pt

※連結の当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益。子会社の当期純利益は出資持分ベース。以下同じ。

＜国内＞

	正味インカードロス						年初 予想差
	上期			年間合計(今回予想)			
	MS	AD	合計	MS	AD	合計*	
国内自然災害計	860	910	1,770	1,150	1,010	2,160	1,650

※上期実績と台風24号の下期インカードロスの合計額は2,010億円

＜異常危険準備金(火災)グロス取崩額＞

	上期			年間合計(今回予想)			年初 予想差
	MS	AD	合計	MS	AD	合計	
取崩額	111	99	211	850	899	1,749	1,578

※期末に追加繰入(MS:350億円、AD:100億円)を予定

＜海外＞

	正味インカードロス		年初 予想差
	上期	年間合計 (今回予想)	
合計	8	286	△ 122
MS Amlin	-	176	△ 72
AD	8	110	△ 50

＜参考：主な国内自然災害の保険金支払見込額＞ (万件、億円)

	最終支払 見込件数	最終支払 見込額(概算)
7月豪雨(台風7号を含む)	約 2	750
台風21号	約 25	2,900
台風24号	約 12	980
元受支払見込額 上記計	約 39	4,630
再保険回収見込額		△ 2,790
正味インカードロス		1,840

※ 現時点における見込み

・年初予想比で、グループ修正利益は国内生保事業と金融サービス事業／リスク関連事業で増益となるものの、国内損保事業の大幅な減益※を主因に△900億円減益の1,800億円。

※グループ修正利益ベースでは異常危険準備金損益を控除するため、会計利益とギャップが生じる。

(億円)

	2017年度	2018年度 (年初予想)	2018年度(今回予想)		
			前期比	年初予想比	
グループ修正利益	2,010	2,700	<b>1,800</b>	△ 210	△ 900
国内損保事業	2,878	2,070	<b>1,160</b>	△ 1,718	△ 910
国内生保事業	326	220	<b>240</b>	△ 86	20
海外事業	△ 1,250	370	<b>350</b>	1,600	△ 20
金融サービス事業/リスク関連事業	56	40	<b>50</b>	△ 6	10
その他経営数値目標					
MSA生命 EEV	8,355	8,650	<b>9,030</b>	675	380
グループ修正ROE	6.4%	8.5%	<b>5.6%</b>	△ 0.8pt	△ 2.9pt

		三井住友海上		あいおいニッセイ同和損保	
市場環境の前提		2018年9月末の水準を想定			
		( 参考(2018年9月末) 日経平均 24,120円、米ドル 114円、ユーロ 132円、英ポンド 149円 )			
国内自然災害		1,150億円	(+ 840億円)	1,010億円	(+ 810億円)
異常危険準備金 (火災保険)	繰入	448億円	(+ 348億円)	245億円	(+ 101億円)
	取崩	850億円	(+ 776億円)	899億円	(+ 802億円)
	積増	△ 402億円	(△ 427億円)	△ 654億円	(△ 701億円)
異常危険準備金 (自動車保険)	繰入	210億円	(△ 0億円)	220億円	(△ 1億円)
	取崩	142億円	(+ 19億円)	296億円	(+ 27億円)
	積増	67億円	(△ 20億円)	△ 76億円	(△ 28億円)
法定実効税率		27.9%			

※ 海外自然災害について、MS Amlinは176億円(自然災害を含む大口ロス)。あいおいニッセイ同和損保は110億円。

※ 異常危険準備金(火災保険)について、三井住友海上は350億円、あいおいニッセイ同和損保は100億円の追加繰入を織込。

※ あいおいニッセイ同和損保で、価格変動準備金の追加繰入150億円を織込。

※ ()内は年初予想比

# 国内損害保険会社（2018年度業績予想）主要2社の概要 1

＜参考＞2018年度業績予想  
(2018.11.19 発表) 内容

(億円)

	2社合計(単純合計)			三井住友海上(単体)			あいおいニッセイ同和損保		
		前期比	年初 予想比		前期比	年初 予想比	(単体)	前期比	年初 予想比
正味収入保険料 <sup>※1</sup>	27,270	46	10	15,010	6	-	12,260	39	10
アーンド保険料 <sup>※2</sup>	23,809	193	△ 72	13,193	64	△ 50	10,616	128	△ 22
インカードロス(含む損害調査費) <sup>※2</sup> (－)	15,979	1,785	1,885	8,781	1,028	1,048	7,198	757	837
保険引受に係る事業費 <sup>※2</sup> (－)	8,344	295	△ 2	4,473	104	14	3,871	190	△ 16
諸手数料及び集金費 <sup>※2</sup>	4,853	75	20	2,557	42	16	2,296	32	4
営業費及び一般管理費 <sup>※2</sup>	3,491	219	△ 22	1,916	61	△ 2	1,575	157	△ 20
保険引受利益(異常危険準備金反映前)	△ 392	△ 1,731	△ 1,850	0	△ 1,003	△ 1,068	△ 392	△ 728	△ 782
異常危険準備金損益	912	1,358	1,290	240	398	538	672	959	752
保険引受利益	520	△ 373	△ 560	240	△ 604	△ 530	280	231	△ 30
EI損害率 <sup>※2</sup>	67.1%	7.0pt	8.1pt	66.6%	7.5pt	8.2pt	67.8%	6.4pt	8.0pt
正味損害率 <sup>※1</sup>	67.8%	7.3pt	6.1pt	67.3%	5.7pt	6.1pt	68.5%	9.3pt	6.1pt
正味事業费率 <sup>※1</sup>	33.3%	1.1pt	0.0pt	32.0%	0.7pt	0.0pt	34.8%	1.4pt	△ 0.1pt
コンバインド・レシオ <sup>※1</sup>	101.1%	8.4pt	6.1pt	99.3%	6.4pt	6.1pt	103.3%	10.7pt	6.0pt

※1 全種目ベース

※2 除く家計地震・自賠責ベース

※ 自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

※ アーンド(既経過)保険料は、未経過保険料(除く自然災害責任準備金)・保険料積立金等を調整して算出



# 国内損害保険会社（2018年度業績予想）主要2社の概要 2

<参考> 2018年度業績予想  
(2018.11.19 発表) 内容

(億円)

	2社合計(単純合計)			三井住友海上(単体)			あいおいニッセイ同和損保		
		前期比	年初 予想比		前期比	年初 予想比	(単体)	前期比	年初 予想比
保険引受利益	<b>520</b>	<b>△ 373</b>	<b>△ 560</b>	<b>240</b>	<b>△ 604</b>	<b>△ 530</b>	<b>280</b>	<b>231</b>	<b>△ 30</b>
ネット利息及び配当金収入	1,150	15	70	780	63	60	370	△ 47	10
有価証券売却損益	1,172	△ 171	509	1,052	△ 136	493	120	△ 35	16
有価証券評価損 (一)	68	△ 432	3	38	27	3	30	△ 460	-
資産運用・その他収支	<b>2,060</b>	<b>271</b>	<b>590</b>	<b>1,690</b>	<b>△ 90</b>	<b>580</b>	<b>370</b>	<b>362</b>	<b>10</b>
経常利益	<b>2,580</b>	<b>△ 101</b>	<b>30</b>	<b>1,930</b>	<b>△ 695</b>	<b>50</b>	<b>650</b>	<b>593</b>	<b>△ 20</b>
特別損益	<b>△ 224</b>	<b>△ 551</b>	<b>5</b>	<b>△ 37</b>	<b>△ 53</b>	<b>△ 6</b>	<b>△ 187</b>	<b>△ 498</b>	<b>11</b>
当期純利益	<b>1,790</b>	<b>△ 348</b>	<b>20</b>	<b>1,440</b>	<b>△ 542</b>	<b>30</b>	<b>350</b>	<b>193</b>	<b>△ 10</b>

## 主要項目

(億円)

	2017年度	2018年度 (年初予想)	2018年度 (今回予想)		
			増減率/前期比	年初予想比	
新契約高 <sup>※</sup>	26,395	22,500	<b>32,969</b>	24.9%	10,469
新契約年換算保険料 <sup>※</sup>	388	459	<b>542</b>	39.5%	83
保有契約高 <sup>※</sup>	238,068	238,800	<b>248,135</b>	4.2%	9,335
保有契約年換算保険料 <sup>※</sup>	4,123	4,287	<b>4,355</b>	5.6%	68
保険料(グロス収入保険料)	4,925	4,968	<b>5,045</b>	119	77
経常利益	169	160	<b>142</b>	△27	△18
当期純利益	52	50	<b>40</b>	△12	△10

※新契約高、新契約年換算保険料、保有契約高、保有契約年換算保険料は、個人保険・個人年金保険の合計

## 主要項目

（億円）

	2017年度	2018年度 （年初予想）	2018年度（今回予想）		
			増減率/前期比	年初予想比	
新契約高	10,156	10,136	<b>10,311</b>	1.5%	175
保有契約高	60,618	65,700	<b>67,420</b>	11.2%	1,720
保険料（グロス収入保険料）	10,156	10,000	<b>10,000</b>	△ 155	0
経常利益	289	274	<b>353</b>	64	79
当期純利益	292	170	<b>200</b>	△ 92	30

## 海外保険子会社

(億円)

	2017年度	2018年度 (年初予想)	2018年度(今回予想)		
			前期比	年初予想比	
正味収入保険料	6,823	7,160	<b>7,000</b>	176	△ 160
アジア	1,625	1,757	<b>1,788</b>	162	31
欧州	4,704	4,919	<b>4,746</b>	40	△ 173
(うちMS Amlin)	4,296	4,498	<b>4,347</b>	50	△ 151
米州	493	484	<b>467</b>	△ 26	△ 18
当期純利益	△ 1,046	400	<b>380</b>	1,426	△ 20
アジア	107	173	<b>237</b>	129	63
欧州	△ 1,247	119	<b>48</b>	1,295	△ 71
(うちMS Amlin)	△ 1,104	185	<b>105</b>	1,209	△ 79
米州	35	30	<b>32</b>	△ 3	2
海外生保	58	78	<b>63</b>	5	△ 14

正味収入保険料

(億円)

	2社合計(単純合計)		三井住友海上(単体)		あいおいニッセイ同和損保 (単体)	
		増収率		増収率		増収率
火災	3,705	Δ0.2%	1,946	Δ1.1%	1,759	0.8%
海上	688	1.3%	606	0.3%	82	9.5%
傷害	2,135	2.2%	1,498	1.4%	637	3.9%
自動車	13,397	Δ0.3%	6,539	Δ0.8%	6,858	0.3%
自賠責	3,348	Δ4.8%	1,764	Δ4.4%	1,584	Δ5.2%
その他	3,997	5.3%	2,657	5.5%	1,340	5.0%
合計	27,270	0.2%	15,010	0.0%	12,260	0.3%
除く家計地震・自賠責	23,912	0.9%	13,240	0.7%	10,672	1.2%

※自動車保険「もどりッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

EI損害率

	2社合計(単純合計)		三井住友海上 (単体)		あいおいニッセイ 同和損保(単体)	
		前期比		前期比		前期比
火災	106.5%	29.8pt	108.8%	37.0pt	104.0%	21.7pt
海上	58.9%	△1.2pt	58.8%	△0.3pt	60.3%	△8.6pt
傷害	52.7%	0.1pt	53.5%	0.6pt	50.7%	△1.3pt
自動車	61.8%	2.5pt	61.3%	2.0pt	62.3%	3.0pt
その他	56.3%	6.2pt	56.6%	5.3pt	55.8%	8.0pt
合計(除く家計地震・自賠責)	67.1%	7.0pt	66.6%	7.5pt	67.8%	6.4pt
(除く自然災害影響)	57.6%	2.5pt	57.8%	2.1pt	57.3%	3.0pt

※ 自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

※ インカードロス=正味支払保険金+損害調査費+支払備金積増額

※ EI損害率の分母となるアード(既経過)保険料は、未経過保険料(除く自然災害責任準備金)・保険料積立金等を調整して算出

※ 「自然災害影響」は、当年度発生国内自然災害および海外自然災害のインカードロスの金額

この資料では、社名表示に次の略称を使用している箇所があります。

- MS&ADホールディングス、持株会社 (＝MS&ADインシュアランス グループ ホールディングス(株))
- MS&AD (＝MS&ADインシュアランス グループ)
- 三井住友海上、MS (＝三井住友海上火災保険(株))
- あいおいニッセイ同和損保、AD (＝あいおいニッセイ同和損害保険(株))
- 三井ダイレクト損保、MD (＝三井ダイレクト損害保険(株))
- 三井住友海上あいおい生命、MSA生命 (＝三井住友海上あいおい生命保険(株))
- 三井住友海上プライマリー生命、MSP生命 (＝三井住友海上プライマリー生命保険(株))
- MS Amlin (＝MS Amlin plc)
- MS First Capital (＝MS First Capital Insurance Limited)

## 「グループ修正利益」の定義

グループ修正利益 = 連結当期利益 + 異常危険準備金等繰入・戻入額 - その他特殊要因（のれん・その他無形固定資産償却額等） + 非連結グループ会社持分利益

修正純資産 = 連結純資産 + 異常危険準備金等 - のれん・その他無形固定資産

グループ修正ROE = グループ修正利益 ÷ 修正純資産（期初・期末平均）

## 予想および見通しに関する注意事項

この資料に記載されている内容のうち、MS&ADホールディングスならびにグループ各社の将来に関する計画や戦略、業績に関する予想や見通しは、現時点で把握できる情報から得られた当社グループの判断に基づいています。実際の業績は、さまざまな要因によりこれらの業績見通しと異なる結果になり得ることをご承知おき下さいますようお願いいたします。実際の業績に影響を及ぼし得る要因としては、(1)事業を取り巻く経済動向、(2)保険業界における競争激化、(3)為替レートの変動、(4)税制など諸制度の変更、などがあります。

### お問い合わせ先

MS&AD インシュアランス グループ ホールディングス株式会社  
広報・IR部

**TEL: 03-5117-0311**

**URL: <https://www.ms-ad-hd.com/contact/index.html>**